

(1)事業の概要等

事業番号	B2101
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	姉妹都市・友好都市交流事業					担当部			地域活性化営業部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降			担当課			シティプロモーション課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	21	展開方向	1	担当係			都市交流係		
	予算区分	一般会計	款	7	項	1	目	3	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市・八雲町交流市民の会規約、八雲町宿泊助成に関する要綱、姉妹都市・友好都市交流委員会設置要綱、小牧市姉妹都市及び友好都市交流事業助成金交付要綱、					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	姉妹都市・友好都市との交流を深め、今後のより良い関係づくりに寄与するため、姉妹都市米国ワイアンドット市及び友好都市米国グラント郡、韓国安養市、北海道八雲町との都市間交流の推進を図る。 また、次代を担う中学生が、海外でのホームステイや学校訪問などを通じ、国際感覚を習得することを目的とし、中学生相互交流事業を実施する。										
	対象 (何・誰を対象に)	市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>【令和4年度実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●米国ワシントン州グラント郡 <ul style="list-style-type: none"> ・グラント郡中学生派遣 令和5年5月に、友好都市である米国グラント郡へ市内中学生を派遣するため、担当者と随時調整を進めた。また、抽選により派遣生徒を決定し、事前研修を3回実施した。(派遣人数10名、応募者42名) ・グラント郡ZOOM交流 公募の市内中学生が、自宅のPC等から、グラント郡の生徒とZOOMにて交流を行った。11月、1月、3月の3回実施。(参加者6名、応募者13名) ●米国ミシガン州ワイアンドット市 <ul style="list-style-type: none"> ・ワイアンドット市中学生受入 令和5年度に、ワイアンドット市中学生を受入するため、担当者と随時調整を進めた。 ●韓国安養市 <ul style="list-style-type: none"> ・「第49回市民の日の記念式」開催に伴い、市長のビデオレターを送付した。 ●北海道八雲町 <ul style="list-style-type: none"> ・友好都市である八雲町については、市民レベルの交流の促進に努めるとともに、宿泊者に対する助成を行った。 八雲町宿泊施設利用助成金:263,250円(利用者54人) ・八雲町交流市民の会・役員会、総会を実施し、会員に特産物を配布した。また、交流ツアーにより14名(会員12名、随員2名)で八雲町を訪問した。 八雲町交流事業参加負担金:152,000円 ●交際交流事業委託:8,069,459円・姉妹都市・友好都市交流委員会に事業委託 										
受益者負担	有	(国際交流事業参加個人負担料)参加市民一人当たり150,000円 受益者負担総額 1,500,000円(150,000円×10人)										

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5			
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	4,893	55	286
			国・県支出金	千円						
			その他	千円						
			計(A)	千円	4,893	55	286	8,538		
			対前年比	%	—	1.1%	520.0%	2985.3%		
			予算額	千円	7,908	2,318	1,950	10,270	31,972	
	人件費		正規職員	人	0.40	0.52	0.50	0.50		
			正規職員(平均賃金)	千円	2,994	3,893	3,743	3,743		
			その他職員	人	0.01	0.10				
			その他職員(時給×時間)	千円	14	1,404				
			計(B)	千円	3,008	5,297	3,743	3,743		
			事業費合計(C=A+B)	千円	7,901	5,352	4,029	12,281		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	21	展開方向			1
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1	ブランドロゴマーク・キャッチフレーズを知っている市民の割合	%	↗	72.9	75.5	75.8	—	
2								
3								

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5	
	成果指標	海外都市交流事業参加者の満足度	%	目標	—	—	—	—	—	100
				実績	—	—	—	—	—	
	成果指標	八雲町交流ツアー参加者の満足度	%	目標	—	—	—	100	100	100
				実績	—	—	—	100	—	
	活動指標	海外都市中学生派遣・受入事業	人	目標	13	20	20	20	19	19
				実績	13	—	—	—	—	19
	活動指標	八雲町交流ツアー	人	目標	32	13	18	18	18	18
				実績	33	—	—	12	—	
	単事業あたり	受益者数(a)		人	—	—	—	—	—	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—	—			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの					
	事業の達成状況と課題	<p>令和5年度に、グラント郡への中学生派遣事業、ワイアンドット市中学生の受入事業、両市への親善訪問、安養市への親善訪問を実施するため、それぞれ調整を進めた。</p> <p>海外の国との児童・生徒のホームステイの相互交流事業については、国際情勢・経済状況等の影響を受けやすく、また、お互いの国とのやり取りは慎重な対応が求められることや、募集、行程作成、現地との調整など、事務方の負担とリスクが非常に大きい事業である。</p> <p>市内の小中学校の教員に引率をお願いしているが、事前の研修や相手国からの受け入れ、また、未成年を預かり海外へ引率することで、現地での不測の事態への対応など、時間的にも、心身的にも負担が大きい。グラント郡との相互交流が始まり、ワイアンドット市と隔年で派遣、受入を実施し、さらに安養市との交流が再開すると、毎年2回派遣があるため、さらに負担が大きくなる。</p> <p>グラント郡とのリモート交流は、オンラインでできることから派遣受け入れ事業に比べて、参加しやすく、参加者の経済的負担も少ない。しかしながら、グラント郡側の参加者が少ないないため、参加者数を増やすことができないことが課題である。</p>						
	今後の実施内容	<p>米国ワイアンドット市・グラント郡との交流について、令和5年度に親善訪問事業を実施し、中学生相互交流事業については、隔年で派遣・受入を実施していく。(R5:グラント郡派遣、ワイアンドット市受入、R6:グラント郡受入、ワイアンドット市派遣..) リモート交流についても引き続き実施していく。</p> <p>韓国安養市との児童交流は現在交流を中止しているが、再開に向けて調整等を進めていく。</p>						
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節		